

内閣府主催シンポジウム

多世代参画で広がる 地域の未来

～「ごちゃまぜ」のつながりを通じて～

人口減少や地域社会の高齢化が進む中で、内閣府では、令和6年9月に閣議決定された「高齢社会対策大綱」を踏まえ、幅広い世代の地域住民の参画の下、地方公共団体、大学等、企業・団体、NPO等の多様な主体の連携により、地域社会の課題解決に分野横断的に取り組むためのプラットフォーム（仕組み）づくりを目指す実証事業を開始しております。

本シンポジウムでは、採択された5団体からの活動報告やパネルディスカッション、地域で特色のある取組を展開している社会福祉法人による事例紹介などを通じ、ごちゃまぜのつながりが地域に生み出す新たな可能性や、組織間連携やコーディネーターの育成などの課題について議論を深めてまいります。

日時

令和8年
3/4 水 13:00～16:30
(開場/12:30～)

会場

紀尾井カンファレンス

東京都千代田区紀尾井町1-4
東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー4階



オンラインでも同時配信!

URL ▶ <https://youtube.com/live/Km2Relv1vz8?feature=share>



プログラム

- 12:30 受付・開場
13:00 開会挨拶・事業説明
13:05 基調講演
「多世代で学んで支える地域の未来～大学等を活用してできること～」
檜山 敦
(一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授、
東京大学先端科学技術研究センター特任教授)
- 13:20 内閣府による来年度事業の説明
13:30 パネルディスカッション
①今年度事業の活動報告 ②パネルディスカッション
- ファンリ
テーター
湯浅 誠
(特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 公共政策アドバイザー)
- パネリスト
地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
一般社団法人横浜イノベーション推進機構
特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸
特定非営利活動法人介護予防で日本を元気にする会
社会福祉法人三股町社会福祉協議会
- 15:05 「多世代参画を生み出す仕掛けとは」
～地域における取組紹介～
社会福祉法人愛川舜寿会 理事長 馬場 拓也
社会福祉法人ながよ光彩会 理事長 貞松 徹
- 15:35 今年度の事業の総括と来年度への期待
飯島 勝矢
(東京大学高齢社会総合研究機構 機構長、東京大学未来ビジョン研究センター教授)
- 15:45 参加者による交流会 ※会場参加者のみ



飯島 勝矢

東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長、東京大学未来ビジョン研究センター 教授

1990年千葉大学医学部循環器内科入局、東京大学大学院加齢医学講座、米国スタンフォード大学医学部研究員を経て、2016年東京大学高齢社会総合研究機構教授、2020年同研究機構機構長及び未来ビジョン研究センター教授。内閣府「高齢社会対策大綱の策定のための検討会」構成員、特に健康長寿実現に向けたフレイル予防を軸とした超高齢社会の総合まちづくり研究が専門



檜山 敦

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科 教授、東京大学先端科学技術研究センター 特任教授

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。人間拡張技術、複合現実感技術等を駆使し、超高齢社会を持続可能にするシステム研究に取り組む。東京大学先端科学技術研究センター特任教授を兼務。著書に『超高齢社会2.0 クラウド時代の働き方革命』(平凡社新書)など。



湯浅 誠

特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 公共政策アドバイザー

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究所博士課程単位取得退学。現在、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、日本福祉大学客員教授、こども家庭庁「こども家庭審議会こどもの居場所部会」委員、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 公共政策アドバイザー、仙台こども財団理事長、和歌山県アドバイザーなどを兼任。経済同友会会員。



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 村山 洋史

高齢者医療と老年学を柱に、加齢や高齢者特有の病気、暮らしや福祉の課題を幅広く研究し、高齢者の健康の維持・増進と活力の向上を目指した科学的知見を社会に発信する研究機関。



一般社団法人 横浜イノベーション推進機構 黒澤 史津乃

横浜を起点として、固定観念や古い価値観に捉われることなく、多様な方々との対話を通じ、我が国が直面する様々な社会課題について、持続可能な形で解決する新たな仕組みを探究・構築することを目的としている。



特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 中村 順子

阪神・淡路大震災を契機に、「自立と共生」をミッションに掲げ1996年に設立。民設民営のNPOサポートセンターとして、地域の居場所づくりや地域活動人材の育成を支援し、年間500名・30グループを輩出している。



特定非営利活動法人 介護予防で日本を元気にする会 光岡 眞理

2013年設立。介護予防を研究・実践の両面から推進。介護予防の担い手育成を核に、LINE・地域資源マッチングシステム・カスタマーセンターを融合し、継続的な行動変容を支援する独自モデルを展開。



社会福祉法人 三股町社会福祉協議会 大江 樹

地域共生社会の実現に向け、2020年に自分たちのまちを自分たちで楽しくをコンセプトに、三股町社会福祉協議会内に「三股町コミュニティデザインラボ」(2000人を超える一人ひとりのプレイヤーとの出会いを糧に、新しい福祉の未来について日夜考えている実践支援研究室)を設置。



馬場 拓也

社会福祉法人愛川舜寿会 理事長

1976年神奈川県生まれ。大学卒業後、外資系ファッションブランドに10年間勤務。2010年より現法人に参画し、2018年に日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科修了。ミノワホーム、カミヤト凸凹保育園、春日台センターセンター、洗濯文化研究所などを通じ、地域に根ざした福祉と暮らしのかたちを実践している。



貞松 徹

社会福祉法人ながよ光彩会 理事長

1978年長崎生まれ。理学療法士を経て海外を巡り国際医療福祉プロジェクトに従事。2014年、社会福祉法人ながよ光彩会設立に従事(現在:理事長)。福祉をまちにひらく実践を重ね、み館・GOOOOOOD STATIONを展開。「正しさを固定化させない」を軸に、福祉と学び、地域を横断的に編み直している。

参加方法

会場整理の都合上、当日会場にて参加をご希望の方は、WEBにて下記URLのフォームまたは右記QRコードからお申し込みください。

URL▶ <https://forms.gle/AKug31VmbToTJpWk9>



お問合せ先

シンポジウム「多世代参画で広がる地域の未来」事務局
TEL.03-6809-2772 (お問合せ受付時間:土日祝を除く、平日9~18時)

✉ staff@liveup.tokyo